木材ジャーナル名古屋・せいぶ

平成30年6月号　No.133

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

平成30年度木材関連団体総会開催

西垣洋一　組合長

名古屋木材組合の通常総会は平成30年５月24日（木）午後１時30分から名古屋木材会館に来賓、組合員約40名の出席を得て開催された。西垣組合長はあいさつの中で、「クリーンウッド法など法律関係を適切にクリアし、環境面にも配慮して、理論武装しよう。また情報発信や研修会などを積極的に実施していく」と述べた。

議事に移り、平成29年度事業報告では、名古屋城天守閣の一日も早い着工や公共施設の木造化について愛知県や名古屋市に要望したことなどを報告。平成30年度事業計画では、民間の非住宅施設の木造化などに取り組んでいくと説明した。

第１号議案　平成29年度事業報告について
第２号議案　平成29年度収支決算について
第３号議案　平成30年度事業計画について
第４号議案　平成30年度収支予算について
第５号議案　平成30年度組合費の賦課及び徴収方法について
第６号議案　記念部分林特別会計
①平成29年度事業報告および収支決算の承認について
②平成30年度事業計画及び収支予算の決定について

以上各議案については事務局の説明の通り承認された。その後来賓を代表して名古屋市長（代理 名古屋市市民経済局鷲見産業労働課産業企画係長）から祝辞が述べられ総会が終了した。

また、午後２時20分から同所にて（一社）愛知県木材組合連合会の総会において、組合功労者、永年勤続優良従業員表彰式が行われ、当組合から下記の方々が表彰されました。

◎組合功労者知事表彰
上地浩之（上地木材㈱）、尾之内 裕三（丸進木材㈱）
◎永年勤続優良従業員知事賞
永田敬雄（名古屋木材㈱）、野村博喜（名古屋木材㈱）、清水 修（㈱山西）　（敬称略）

★新役員
理　事　江口久典（大日本木材防腐㈱）、西垣貴文（西垣林業㈱）
監　事　阿知波 清久（阿知波木材㈱）　（敬称略）

“いま、木に本気”くらしに活かそう木の良さを

みちしるべ

木材業界の“ 火ダネ運動 ”を起こそう!!
古典（先人･先哲）から学ぶ ― 細井平洲先生の教え ―

名古屋木材組合
組合長 西　垣　洋　一

日本は2020年を節目に大変革期を迎えます。少子高齢化・過疎化等の進展に伴い、新設住宅着工数の減少、空き家問題等が顕在化、又、東京オリンピック・パラリンピックによりグローバル化が一層進展、日本人というブランドはなくなり「個人」の能力がより重視されるようになります。更にはAI、IoTなどのロボット・自動化技術の発展、情報化の進展は様々な職種・業務に影響を及ぼし、仕事そのものがなくなるものもあると言われています。木材業界もまたこの時代の大きなうねりを避けることはできません。2020年以降の時代は、新たに企業にも個人にも否応なしに自己の変革を迫っています。変化に立ちすくみ立ち止まるのではなく、自らを鼓舞し、自身の道を切り開かなければならない時代が来たと言えます。

こうした変革期・激動の時代を迎える際、古典（先人・先哲）から学び、進むべき道、持つべき心構えを得ることが大切に思います。その１人に「財政再建・産業育成・精神復興」の３つの改革を成し遂げた米沢藩主上杉鷹山の師であり、愛知県の生んだ偉人、儒学者の細井平洲先生がいます。火ダネ運動とは、窮乏に喘ぎ、心の赤字に陥っていた藩民の心に火を灯すという鷹山が行った平洲先生の教えの実践です。

［　火ダネ運動 −火ダネにより心の壁を打ち破る　］

“ 鷹山は、ある時火鉢の灰をキセルでかき回すと、中には炭火の残り･火ダネがあり、火ダネさえあれば火の連続性や継続性が保てることに気付きました。自身がまずその火ダネになり部下に移し、それを1人でも多くの人へ移せば、やがて城の外に出て町や村の人々の胸に火を起こし、それが改革のパワーとなることを考案しました。又鷹山は自身の「心の壁」を破壊できる人が勇気ある人といい、火ダネにより心の壁を打ち破ることで優しさと思いやりという精神復興の大改革を成し遂げました。”

業界の未来に向け大切なことは変化の前に立ちすくむことではなく、フォローの風を生かし、「ウッドファースト社会」の実現という悲願達成に向け、熱い思いを持って自ら“心の火”を灯し、その“火ダネ”を川上から川下まで全てに広げていくことです。組合としても皆様方の思いと勇気を頂いて、業界発展の為の“火ダネ”となれるよう邁進して参りたいと思います。

最後に皆様に平洲先生が、十九歳の鷹山公の初の国入りのときに、贈った言葉をご紹介します。現在の私共にも通ずる言葉だと思います。

「勇なるかな勇なるかな
　　　　勇にあらずして何をもって行わんや」

「藩主となるあなたに、大事なこと、お手本にしたほうがよいと思うことはすべて教えました。藩の人々の暮らしを立ち直らせて、豊かにしていくためには、まずみずからが身を正しく修めて、絶えず努力して、自分の信じるところをつらぬいていかなければなりません。こうしたことは、勇気あるものだけができるのですよ。　勇気ですよ、勇気ですよ、勇気なくして、どうして政治ができるでしょうか。　いよいよそのときがやってきたのです。」

◆合縁木縁◆

「海外よりも国内旅行」

LCCの普及やインターネット経由で海外から格安航空券を簡単に入手できるようになったこともあり、海外旅行をする人が増えている印象を受けます。私も海外旅行に行ってみたいなという思いを持ちつつも、つい国内旅行ばかり選んでしまいます。

そんな国内旅行のなかでも私がここ数年でやり遂げたいと思っていることは、日本の東西南北端を訪れることです（一般人が行ける範囲で）。2011年に最北端の宗谷岬、2014年に最東端の納沙布（のさっぷ）岬、2015年に最西端の与那国島を訪れ、残すは最南端の波照間（はてるま）島のみとなりました。

最西端の与那国島を訪れた際は、それが私にとって初めての沖縄旅行でした。一般的に、沖縄の中でも最果てとなる離島を最初の沖縄旅行で目的地にする人は少ないでしょう（与那国島から台湾までの距離は約110km、那覇市までは520km）。しかし、それは貴重な体験となりました。与那国島ではもちろん我々が日常的に使用している日本語は通じ、同じ通貨も使え、道路には見慣れた標識があります。しかし本州にはないゆっくりとした島時間が流れ、見るもの全てが私の住んでいる世界とは違うように思えました。その旅行後から、私はすっかり離島巡りにはまってしまいました。離島にもよりますが、プチ海外旅行気分を味わえます。同じ日本なので勿論時差はないですが、夏至基準で最東端の納沙布岬の日の出時間は3：36、東京は4：28に対し与那国島は5：59と、こんなにも差があります。気候や町並み、生態系も違います。そういった興味深いことも多くあるため、国内旅行をやめられません。残す最後の最南端、波照間島は２度訪島を試みたのですが、船の欠航、休暇の取得の関係で実現できませんでした。最南端を制した後は世界遺産にも登録されている小笠原諸島へ行くことが最近の夢です。旅行のために貯めている航空会社のマイルも北米や欧州まで行ける程貯まったのですが、まだまだ魅力いっぱいな国内旅行がやめられません。

次回は、愛日木研株式会社様にお願いします。

名古屋：住友林業クレスト㈱　狩野敬俊

◆自遊ご異見番◆

「さらば腰痛」

この度、前任の木股より広報委員を引継ぎました牧野と申します、委員長はじめ他の委員の方と協力して、組合員の皆さまにより良い情報をご提供できればと思っております。

私は26歳の時に「ぎっくり腰」を患いました。最初のうちは１～２年の周期で再発を繰り返し、整体で施術してなんとか日常生活を送っていました。しかしここ数年はその周期が狭まり、昨年の4月はゴルフをやる度に「ぎっくり腰」になる状態になってしまいました。これではいけないと整形外科で診察してもらい、出された診断が「椎間板ヘルニア」でした。医者に言われるままコルセットも作ることになりましたが、これで腰痛が治るわけもなく「腹筋や背筋を鍛えたらいいですか？」の質問に、「そんなことしたら余計痛めます運動不足が原因だからまずは歩きなさい！」が回答でした。言われてみれば通勤は自動車、運動はゴルフの他にはしておらず、そのゴルフでさえ乗用カートで移動しているので、はたしてこれも運動と言っていいのかどうか？これではいけないと一念発起、医者の指示に従い歩くことから始める決意をしたが、残念なことに今まで何をしても続いたことがない「万年三日坊主」だったことを思いだしたのです。では、どうしたら続けられるか？無い知恵を絞り、出した答えが「いやでも歩かなければいけない状況にする」でした。仕事が終わったら歩いて帰る、出張や接待もあり毎日は出来ないので２～3日やってみたら案外できてしまった。翌週はそれに休日も増やして歩いてみたら楽しくなってきた。なんとか一ヶ月続けると腰の状態が良くなってきた。するとただ歩くだけでは面白くなくなり、人気日帰り温泉まで出かけ、その周辺を歩いて入浴して昼食を食べる趣味までできた。この一年間で歩いた距離が1600キロ、今ではゴルフも歩いてラウンドできるまでになり今後も続けていきたいと思っています。最後に、会社まで送ってくれる妻に感謝することも忘れないようにしたいと思います。

名古屋 広報委員：牧野廉親（大日本木材防腐㈱）

お知らせ

☆☆☆　弥富・飛島地区の一斉清掃が行われました　☆☆☆

平成30年５月30日（水）に弥富・飛島地区の一斉清掃があいにくの雨天にもかかわらず名古屋港管理組合から20名の職員、各企業の方々の参加で実施されました。

弥富地区では、可燃ゴミ390kg（昨秋490kg）、不燃ゴミ230kg（同300kg）。
飛島地区では、可燃ゴミ510kg（昨秋1,150kg）、不燃ゴミ330kg(同620kg)、
プラスチックゴミ20kg(同470kg)
が回収されました。今季は土砂の回収はされませんでした。

☆☆☆　西部臨海安全ニュース　☆☆☆

施錠などの防犯対策を！！

蟹江警察署管内においては、一般住宅を狙った空き巣や忍び込み被害が多発しています。
侵入方法としては、玄関ドアのこじ開けや窓ガラス割りによるものが多いです。
また、家人が就寝中に泥棒が入る忍び込みについては、泥棒と鉢合わせる危険もあります。
在宅時でも施錠することはもちろん、外出時だけでなく、就寝前の施錠確認をしましょう。
また、補助錠等の施錠プラスワン防犯や防犯カメラの設置等、目に見える防犯で泥棒に狙われにくい環境づくりをお願いします。

◆ 広告コーナー

私たちのプレカットテクノロジーは、
人と住宅の未来のために
磨かれているのです。
Precut & Technology
MIYAGAWA®
宮川工機株式會社
本社 〒441-8019 愛知県豊橋市花田町字中ノ坪53
TEL.(0532)31-1251㈹ FAX.(0532)34-1956
東京営業所（本事業所はISO9001:2000認証取得の組織ではありません）
〒135-0016 東京都江東区東陽5丁目15の6
TEL.(03)3647-2140㈹ FAX.(03)3647-2184
●資料ご希望の方は、宮川工機(株)営業部まで

HEIAN
「プレカット」と「木工機械」の
平安コーポレーション
〒431-2103 静岡県浜松市北区新都田1-5-2

発　行　名古屋木材組合
発行者　西垣洋一
〒460－0017　名古屋市中区松原２－18－10
TEL〈052〉331－9386
FAX〈052〉322－3376
【編集】名古屋木材組合広報委員会

発　行　名古屋港木材産業協同組合
発行者　嶺木昌行
〒490－1444　海部郡飛島村木場１－74
TEL〈0567〉57－2017
FAX〈0567〉57－2018
【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会